



東 風

横浜市立綱島東小学校



【 通 じ る 心 】

校 長 三橋 国雄

緊急事態宣言の解除に伴い、学級の仲間だけでの学習しかできなかつた事が、学年や学校全体での学習ができるように横浜市教育委員会からのガイドラインが変更になりました。もちろん今までのように感染防止対策をしっかりとしながらの活動になりますが、色々な行事も取り組めるようになってきています。創立50周年の行事が今日、明日に予定されていますが、子ども達はその次にあるイーストスポーツ2021(運動会)に向けての取り組みも頑張っています。

5・6年生の実行委員を中心に全校挙げて、行われる大きな学校行事に向かっている感じが伝わってきています。先日の朝会では実行委員がスローガンとマスコットの紹介を上手にしました。今年度もコロナの影響で一緒での演技はできませんが、6年生が5年生にソーラン節の演技を伝える場を作り、伝統を繋いでいます。そして、6年生は最高学年としての自分たちの気持ちを精一杯表現しようと全身で取り組んでいます。5年生は、6年生からしっかり伝統を繋ぎ頑張るという気持ちが練習を見ていて感じられます。3・4年生は、今自分にできることを精一杯表現しようと練習しています。2年生は、昨年より成長している姿を見せようと張り切っています。1年生は、小学校入学してからの初めての発表会です。みんな張り切っています。そして教職員も大きな学校行事に熱くなっています。発表当日を楽しみにしててください。

子ども達には、得意なこと、苦手なことが、それぞれにあることと思います。ただ思うことは小学生の今だから経験できることをたくさん経験させてあげたいということです。日常を過ごすとき、やらなくてはいけないことをやらなかったとしても、今はそれほど困ることはないでしょう。

しかし、それが、何時かは定かではないながら、「今」やらなければいけないことをやらなかったために、解らなかつたり、できなかつたりして困るときが来ると思います。

「今」やらなくてはいけないことを、解らない、難しいからいやだな、めんどくさいと思いつながらもやっている人は、やっつけてよかったと思うときがあると思います。

子ども達は、今は小学生。義務教育の9年間のうちの6年間は小学校で過ごします。この6年間の学びを積み残して次の中学校での3年間は過ごすことは、相当な努力を要することになると考えられます。そのことに、そうなる前に気が付けることが大切です。そのために学校があります。教室があります。そして家庭があります。

教師は「今」やらなくてはいけないことをこつこつと積み重ねることの大切さを、いろいろな伝え方で伝えています。そして、ご家庭の協力の必要性、大切さを思います。「今」やらなくてはいけないことは、親が心を鬼にしてでも取り組ませていただきたいと思います。学校で教師が「何が何でも」と無理やり取り組ませることが難しい世の中だからです。保護者の方と何が必要であるかを共有することができたら、きっと教師の思いも子ども達に伝わるのではないかと思います。保護者の方と教師との関係が、一緒に子どもの教育を考えるとという方向性を同じくしたものであること。そして、教師にまかせるところ、保護者の方にまかせるところをお互いが理解しあっていることが大切なのではないかと思います。教師と保護者がそんな関係を築ければ、子ども達も安心して学校で過ごせると思います。今月も変わらぬご支援ご協力をお願いします。

